

## 家根谷 依里 Eri Yanetani

トリノ五輪・バンクーバー五輪スノーボード大回転 日本代表  
2017/18 JAPAN SKI TEAM 強化指定選手



転倒した時ケガを防ぐために、私が意識していることをワンポイントアドバイスとして。まず『前に転んだ時は、無理に手で支えようとしない。』手首をケガする原因となります。そして『勢いよく転んだ時は、膝を曲げてボードを雪面から離す。』ボードが雪面に叩き付けられ、足首や膝のケガの原因となります。これだけは必須で気をつけた上に、YOROIのような安心なプロテクターを着けてケガなくスノーボードを楽しみましょう!!



2017年冬季アジア大会  
金メダル銀メダル獲得

## 渡辺 伸一 Shinichi Watanabe

長野五輪ハーフパイプ 日本代表



楽しいスノーボードライフを送るには、常に隣り合わせにあるケガから身を守ることです。上達するには転倒はつきもの、そんな時 YOROI プロテクターはハードな衝撃から僕を守ってくれます。プロテクターから得る安心感はメンタル面も向上させてくれますが、ケガをしない為に滑る前に準備運動(ストレッチ)することが大切です。また、体のケアとして滑った後にもストレッチすることで疲れを残すこともなく楽しさを追いつけて行けます。

## 田中 隆太 Ryuta Tanaka

SS/HP プロスノーボーダー



phototakun



僕は12 - 13シーズンから YOROI のプロテクターを使わせて頂いています。初めて見たときは、がっかりしすぎて動きが制限されてしまうのでは? と思っていました。しかし、実際に着用してみるとそんな事はなく、自分の体にフィットし、動きが制限されることなく普段通りの滑走ができます。また、競技上どうしても怪我はつきものですが、怪我を恐れては何もできません。ですが、怪我を防ぐことはできます。YOROI のプロテクターを着用することにより安心して楽しく、思いっきり、スノーボードをすることができます。是非、試しに着て実感してみてください。

## 杉山 公信 Kiminobu Sugiyama

杉山スキースクール校長

これからのスタンダードへ!  
より安心・安全にスノースポーツを楽しむためのプロテクター。欧米では、レーサーだけでなく、一般の方々も多く使用しています。上半身のプロテクターという点、おおげさに考える人も多いのですが、ケガのリスク回避として、これほど安心感のあるアイテムはありません。「ヨロイバックボーンガード」は、非常に硬いパッドをもち、転倒時や衝突時の衝撃をガードしてくれます。また、フィット性が良いので、ウェアの着こなしを崩す心配がないのも良いですね。



## 八並 朋之 Tomoyuki Yatsunami

プロスキーヤー (スピードスキー S-1/ 世界ランキング 22 位) 日本人初 S-1 昇格  
ワールドカップ 2 シーズン目のトレーニングパートナーに選んだのは YOROI POWER JACKET でした。2017 年にスピードスキーのトップカテゴリーである、Speed-1 (S-1) へ日本人として初めて昇格することになりました。スキーの長さが +20cm の 238cm になり、道具がスピードスキー専用になりました。新しい道具に適應するために、安全面に配慮して、レーシングスーツの上に YOROI を着用してトレーニングする事にしました。YOROI を着用している安心感と、通常より大きい空気抵抗のお陰で、段階的なスピードアップができました。最終的には、184.52km/h と昨年よりも 30 km/h 以上速い記録をマークし、世界のトップレーサーの仲間入りを果たすことができました。今シーズンの目標はクリスタル・グロープです!



## 木崎 健斗 Taketo Kizaki

SBX プロライダー



楽しい一時こそ冷静な判断を!! みんなでワイワイ楽しく滑っていると、上手い人に触発されたり、場の雰囲気が無茶をやってしまったり怪我をすることも少なくありません。テンションが上がっている時こそ冷静になる必要があると思います。怪我をしてしまったら楽しい一時も台無しになってしまうので、一日を「楽しかった」で終わられるよう冷静に自分のレベルを分析して滑ってください。

## 高橋 烈男 Reo Takahashi

プロスノーボーダー

スノーボードを楽しむ為には上達する事が必要だと思いますが、トリックの練習をする時転ぶ事が多くなると思いますが、プロテクターを付けておけば怪我を防げるし痛い思いをせずに済みます。YoroI のプロテクターを付けて安全で楽しいスノーボードをして下さい!



## 寺島 直人 Naoto Terashima

プロスノーボーダー



僕はプロテクター選びは、決して妥協しないことが大切だと思います。それは、けがをしてしまった時のリスクが本当に大きいからです。もしも大好きなスポーツをしていてけがをしてしまったら、自分の生活に支障をきたすだけでなく周りの人たちにも迷惑をかけてしまうこともあるからです。そんなことにならないためにも、しっかりと自分の身に合ったプロテクターを選ぶことが重要です。YOROIのプロテクターなら、機能性は勿論、ビジュアルもカッコいいですし、通気性もあるので年中通して色々なスポーツに使えるので、持っていて決して損はありません。皆さんも、自分に合ったプロテクターを付けて、これからも大好きなスポーツを続けてください。

## 植野 琴 Koto Ueno

Alpine プロスノーボーダー



先シーズンから、YOROIのプロテクターを使わせて頂いております。転倒に対する抵抗もなくなり、積極的にチャレンジする滑りが出来るようになりました。なにより、フィット感があるため、動きやすさは抜群で、滑っている際にどのような姿勢になっても全く違和感がありません。今では、YOROIのプロテクターは、無くてはならない存在となりました。自然相手のスポーツですので、怪我はつきものです。しかし、プロテクターによって怪我のリスクを下げることはできます。皆さんもぜひYOROIプロテクターを試してみてください。

## 岡村 匠 Takumi Okamura

フリースキーヤー



2シーズン前からYOROIプロテクターを使用させて頂いています。どの競技でも、イメージしてから実際に動きに移しますが、この時に邪魔をするのが「怪我への恐怖心」だと思います。この恐怖心を減らせるだけでイメージ通りに動けたり、思いっきり攻める事ができます。YOROIプロテクターは、ただ守るだけではなく、超軽量素材の使用や、関節部の動きやすさ、環境への配慮、ブランドのポリシーにまでとことんこだわっているのですごく気に入っています。皆さんにも最高品質のプロテクターで、高いパフォーマンスを発揮して頂きたいです。

## 小川 淳一郎 Junichiro Ogawa

JSBA プロスノーボーダー

全日本スノーボードテクニカル選手権に23年連続出場を続けられているのは、大きな怪我をしないでこれだからです。怪我を防ぐための体造りや、練習環境も大事ですが、実は怪我を防ぐための装備が大変重要だと思っています。今年も大会で優勝争いをするために、雪上で多くの時間を戦闘モードで滑ります。機能性、機動性に加え機能美も兼ね備えた「鎧」は私にとってウェアの下に装備した戦闘服です。だから滑る時はいつも一緒です！



## 長岡 翼 Tasuku Nagaoka

SBX プロスノーボーダー

スポーツは怪我が付き物です。私も過去に何度か怪我をしています。怪我をするときはプロテクターをしていなかった事が多いです。上手になる為に、楽しいスノーライフを過ごす為に第一に怪我をしない事。その為にはプロテクターが必須です。その中でもヨロイは機能性、安全性がバツグン！競技柄、安心して突っ込めます。



## 田口 瑞樹 Mizuki Taguchi

JSBA デモンストレーター A級インストラクター

鎧プロテクターを初めて見た時に、かなりゴツイなあ。と言う印象を受けました。しかし実際に着てみると見た目以上に動きやすく快適でガッチリ保護されているので安心感もありました。その安心感からか、鎧を着るといつも以上にハイパフォーマンスに攻めた滑りが出来ました。



## 鎌田 絢子 Ayako Kamata

HP/SS プロライダー

スノーボードをする時は、私はいつもYOROIのプロテクターを着用して安心して滑らせてもらっています。着心地が良く、自分の身体にとってもフィットし、動きやすいので安心して技の練習ができます。プロテクターをつけている安心感は私の中でもとても重要なことで、変な躊躇をせずに技の練習をすることが出来ます。細かいパーツにわかれているパッドのおかげで曲げ伸ばしがしやすいので、プロテクターを着用して違和感がなく、私の身体にとってもフィットして気持ちよく競技に取り組むことができます。YOROIのプロテクターは私の大好きなプロテクターです。



## 羽柴 汐莉 Shiori Hashiba

JSBA デモンストレーター B級インストラクター

今までのプロテクターは体型に合わなくてズレたり動きづらかったりすることが多かったのですが、YOROIはどんな体型でもピッタリフィットしてくれます。そして見た目は重そうに見えますが、着てみると思ったより軽く、動きを妨げないので自分自身のパフォーマンスに影響なく、思いっきり滑ることが出来ます。身体を守る安全性だけではなく、着心地や環境までも考えてつくられているYOROIは子どもから大人まで幅広い年代に愛用されている意味が実際に使用してみて分かりました。スポーツに怪我は付き物ですし何が起るかわかりませんが「YOROIを着ていて良かった」と思える瞬間があります。自分のためにも、周りの人のためにもプロテクターを着て安全に楽しくスポーツをしましょう。そして安全性と機能性を兼ね備えたYOROIを着たことがない方は是非試着してみてください。



## 神宮寺 海人 Kaito Jinguji

プロスノーボーダー

自分は2015-2016シーズンからYOROIを使っています。シーズン中大きいジャンプなどで着用していて良かった！と思う事がたくさんありました。けっこうごついので動きづらいと思っていたのですが、そんなことは無く、とても動き易くて僕にとっての必須アイテムです！！

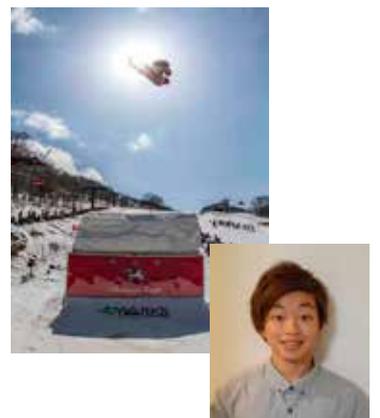


photo by SAM



昨年から YOROI のプロテクターを着用して SX のプロ戦に出場しています。自分がプロテクターに求める事は、第一に安全性、そして動きやすさです。YOROI のプロテクターは様々なタイプがあり、衝撃吸収に特化した物から、動きやすさに特化したものなど様々なラインナップが、あります。自分は POWER SERIES を着用しています。クロスでは接触や転倒などが、他の競技に比べて多いですが、それはやはり勝ちに行く時には多少のリスクを背負ってでも勝負しに行かなければならない時があるからです。このプロテクターを着用した時、1 番最初に感じた事は、安心感です。このプロテクターを着用していれば、怪我はしないと感じ取りました。この安心感があるからこそ、攻めたい時に攻める事が出来ます。技術も大事ですが、この精神的な支えは大会中には、とても心強いです。そして、大会中に何度か転倒やコースアウトしましたが、このプロテクターのおかげで無傷でした。競技者のみならず、一般のスノーボーダーにもケガの予防のために是非、着用して欲しい 1 着ですね！



柏木 ゆかり Yukari Kashiwagi

JSBA デモンストレーター

何十年後も楽しくスノーボードをしたい。何十年後も常に技術向上を追いかけ続ける選手でありたい。そう思う私の最終目標は「生涯スノーボードにワクワクしたい！」です。そのために、かかせない大切なパートナーが YOROI プロテクターです。痛い辛い怖いという思いを感じることなく、スノーボードに夢中になれるのは、YOROIのおかげです。これからも YOROI プロテクターと共にスノーボードによって喜びが生まれる瞬間をたくさん感じていきたいと思えます。



小林 あかり Akari Kobayashi

MTB DH/ マウンテンバイクダウンヒル



YOROI POWER JACKET は走っていてもプロテクターがずれず、体にフィットして不快な感じがなく快適に走れた。胸から転倒した時、胸のところにもプロテクターがあったので一切怪我をしなかった。全面にプロテクターが付いてくれるおかげで安心感があり、攻められた。YOROI AIRLY SHORT は他のパンツのプロテクターに比べてパッドが硬く、今回のレースのような泥で滑るコースで、足を付いた時にしりもちをついたりしても、尾骶骨をぶつけずとも助けられた。

コーチは小林可奈子氏。(2017MTB クロスカントリー全日本チャンピオン。アトランタオリンピック日本代表選手。その後数々の記録を保持。) 2017 年 YOROI を着用させて頂いた初の大会、Coupe du Japon 大会(ダウンヒル種目)で、あかりさんが見事優勝。その際のコメントです：  
コーチとしては「攻めの一手」で走るべき、という思いと母としての「怪我をしないで欲しい」との思いの狭間でレースへ送り出しておりました。今回本人も YOROI を身に着け、「安心感」を手に入れたことが走りにも繋がってきたのだと思います。

松本 重俊 Shigetoshi Mastumoto

スノーボーダー

YOROI PROTECTOR 着ける前と着けてからは全然違いますよ！怪我の予防以外にも、ちょっと無理した時の筋肉の痛みにも、気持ち的にもサポートして貰っています。痛みに我慢する時間は凄く減り楽しい時間が凄く増えました。



手戸 博信 Hironobu Tedo

ツリーケア (樹木の保護) 樹護師 (Arborist)



環境保護の観点から、ツリーケア (樹木の保護) をされる樹護師 (Arborist) という仕事でも、使用されています。フィールドスポーツと環境保全は、とてもかわりの深いものです。

渡部 陸斗 Rikuto Watanabe

ジュニア・スノーボーダー



伊藤 麻理乃 Marino Ito

ジュニア・スキヤー



伊藤 冴生 Saeo Ito ジュニア・スキヤー